



# 若き力

第25号

平成31年2月5日 (火曜日)



平成30年度重点目標 「自分の目標をもち、最後までやり抜く生徒」

## 平成31年度教育課程編成に関わるアンケート結果から②

# 「目標をもつ」「互いに認め合う」ことを実感

## 「目標を達成するための計画や手立ての設定」が課題に！

今回は、学校全般にわたって、生徒を中心に保護者、教職員の評価結果についてお知らせいたします。  
保護者の皆様からは、生徒の頑張りが、教職員への励みや要望等多くのご意見をお寄せいただきました。ありがとうございます。

※ %は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた数値です。

### 【教育目標について】

○評価が高い項目

保護者は、「教育目標や教育方針への理解」「教育目標実現のための工夫」(100%)  
生徒は、「互いの良さを認め学び合い、最後までやり抜く大切さを考える場面があった」(83%)

●評価が低い項目

生徒は、「目標をもつ」(65%)、「最後までやり抜くことができている」(64%)

学校生活を通し「学び合い」や「目標をもつこと」の「大切さ」は実感できても、目標達成に向けた計画や手立てが十分でなかったと感じられます。

### 【学習に関して】

●評価が低い項目

生徒の「授業がわかりやすく楽しい」が昨年度(88%)に対し、今年82%に低下。  
「学ぶ意味や勉強の進め方を理解している」(78%)  
「家庭学習の習慣」(59%)



ICT活用成果発表会(11/21)

保護者は、「子どもは授業がわかりやすい、楽しいと感じている」(62%)  
「家庭学習の習慣」(56%)

学習の楽しさや「わかる」「できる」を実感できる授業を実践するとともに、将来の夢や目標とする進路を明確にさせ、家庭学習を含めた継続した学習の大切さを指導していきます。

### 【道徳・特別活動に関して】

道徳や学校行事、運動、部活動等における項目は、おおむね高い評価でした。特に「進路の学習など将来の生き方について考える機会」については、保護者が89%、生徒・教職員が90%以上でした。進路指導や職業人講話、教職員のキャリア教育を意識した指導を継続してきた成果と考えます。

### 【生活指導に関して】

「先生から良く理解してもらい、良い点を認められている」が100%である反面、「悩みや相談への対応」が70%と低下し、今年度の残された時間の中で改善しなければならぬ事項と捉えています。

### 【保健・安全に関して】

●生徒・保護者ともに「早寝・早起き・朝ごはん等の生活リズム」(50%)で、昨年度からの課題でありながら向上が見られなかった。

学校生活を楽しく充実したものにするためにも重要な要素です。ネットゲームやSNS等、長時間使用のリスクや正しい使い方を継続して指導するとともに、最新の情報を共有し、家庭との連携をさらに高めていきます。



今年度も紫いだづ・市駅伝大会(9/6)

### 【保護者との連携に関して】

○「PTA行事にできる限り参加している」(90%)

「学校は、保護者に対して丁寧に対応している」91%と高い評価をいただきました。「学校からのお便り・ホームページなどは必ず目を通す」(90%)で、さらに向上できるように機会ある事にお伝えしていきたいと思えます。

皆様のご期待に添えるよう、「生命の尊重を基盤として、安全で安心できる、開かれた学校づくり」を進めてまいります。今後とも、変わらぬご協力をよろしくお願いたします。



東大生との学習会(夏休み)



PTA親子奉仕作業(6/23)